

2026 年度 成城大学大学院 社会イノベーション研究科 I 期

入学試験問題

社会イノベーション専攻 博士課程前期

《 専門科目 》 (経営 (戦略))

受験番号

解答方法

1. イノベーションに関する問題2問 ([1]、[2]) と出願時に届け出た2つの専門研究領域に関する基礎学力をみる問題各2問 (経営 (戦略) : [5]、[6] ; 社会 : [9]、[10]*) との合計6問を出題する。これら6問のうちから2問を選択して解答すること。なお、解答する2問のうち少なくとも1問は、入学後に履修を希望する研究指導科目が置かれている研究領域に対応する専門研究領域 (社会*) の問題とすること。
2. 解答する問題ごとに別の解答用紙を使用し、問題番号をその左上に明記すること。

注意事項

1. 問題冊子と解答用紙は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 机の上の受験番号が受験票の受験番号と同一であることを確認しなさい。
3. 受験票は、受験番号が見える面を上にして、机の上の受験番号と並べて置きなさい。
4. 受験票のほかに試験中机の上に置けるものは、黒鉛筆 (和歌、格言等が印刷されているものは不可。)、鉛筆キャップ、シャープペンシル (黒い芯に限る。ボールペン付きは不可。)、消しゴム、鉛筆削り (電動式、大型のもの、ナイフ類は不可。)、時計 (辞書・電卓・端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不

可。)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)です。

5. 携帯電話等の電子機器類は、必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておきなさい。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。また、試験時間中に、かばん等の中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
6. 試験開始の合図があったら、解答用紙と問題冊子の所定欄に受験番号を記入しなさい。なお、氏名はどこにも書いてはいけません。
7. 試験時間中に、問題冊子の印刷不鮮明、落丁・乱丁又は解答用紙の汚れ等に気づいた場合には、手を挙げて、すみやかに監督者に告げなさい。
8. 試験時間中に、気分が悪くなった場合は、監督者に申し出なさい。ただし、休養等に要した時間分の延長は認めません。
9. 解答用紙も問題冊子も必ず提出しなさい。

《 専門科目 》 (イノベーション, 経営(戦略), 社会*)

経営(戦略)に関する基礎学力をみる問題

[5] 多角化に関する、以下の3つの問いに答えなさい。

- (1) 多角化戦略とは何か、その定義を示したうえで、多角化戦略とシナジーの関係について説明しなさい。
- (2) BCG マトリックスのようなポートフォリオ分析ツールは、多角化を行う企業における資源配分にどのように活用されるかを述べ、その限界を論じなさい。
- (3) 多角化戦略は企業価値を高め得る一方で、負の影響を及ぼす場合もある。そのような負の影響が生じる要因を挙げ、対応策について論じなさい。

[6] 企業におけるイノベーションを説明する有力な理論の一つとして、両利きの経営(Ambidexterity)といわれる考え方が注目を集めている。両利きの経営について、以下の3つの問いに答えなさい。

- (1) 両利きの経営とは、どのような特徴を有する経営を指すのか。探索(exploration)と活用(exploitation)という組織学習に関わる二つの概念を用いて説明しなさい。
- (2) 懸命な努力にもかかわらず、中長期的なイノベーションが停滞し、企業の成長が阻害される場合が少なくない。この理由を、両利きの経営の視点から説明しなさい。
- (3) 両利きの経営を促進するために、企業はどのような組織デザインを求められるのか。企業の具体的な取組み事例とともに述べなさい。

《 専門科目 》 (イノベーション, 経営 (戦略), 社会*)